



九州発 地球観測超小型衛星 QSAT-EOS の愛称募集

概要

九州大学を中心に九州地域の他の大学、企業等が協力して開発を進めてきた超小型人工衛星 QSAT-EOS (図1) の愛称を募集します。

この衛星は台風、洪水、噴火、津波などによる自然災害の状況を宇宙からモニターして、九州の災害対策に使うことを主な目的としています。また、平常時には地上の状況を5～7mの精度で写真を撮る能力を活用し、農林、漁業に役に立つ情報を収集したり、人文字や大きなイベントの宇宙からの映像を撮ったりすることに利用できます。

このたび本 QSAT-EOS が今年度内に打ち上げられる見通しが得られましたので、本衛星が九州の皆様にも親しまれ、広く使ってもらうことを目的として、その愛称を公募することとしました。

背景

今回開発した衛星は、超小型・低価格でありながら複数のミッションをこなすことができるという特徴を有しており、これにより超小型衛星の利用が促進され、社会への貢献が広がり、人材育成にも役立つことが期待されます。今回打上予定の QSAT-EOS については、他の3つの大学衛星とともにロシアから打ち上げられることを昨年5月のプレスリリース(別紙参照)で報告しておりましたが、このたび今年度内に打ち上げられる見通しが得られました。

内容

九州大学を中心に九州地域の大学や企業等が協力して開発を進めてきた超小型人工衛星 QSAT-EOS が、九州の皆様にも親しまれ、広く使ってもらうことを目的として愛称募集を行います。愛称募集にあたっては、九州大学が、九州航空宇宙開発推進協議会や協力機関・企業(主に地方自治体、マスコミ社)とともに「九州大学衛星愛称募集委員会」を構成し、一定の募集期間を経て厳正な審査を行い、応募された中から愛称を選考・決定します。また、採用された愛称の提案者から抽選で2名を選定し、感謝状を贈呈します。

- 1) 九州大学衛星愛称募集委員会への参画機関・企業(主に地方自治体、マスコミ社)を募集
QSAT-EOS の Web サイト (<http://qsat-eos.com/>) を通じて参画希望の協力機関・企業を公募(平成25年6月28日(金)まで)。参画していただく協力機関・企業には応募された愛称の集計、選考への参画をお願いします。
- 2) 愛称募集期間:平成25年7月10日(水)～9月9日(月)(予定)
募集期間終了後、九州大学衛星愛称募集委員会にて選考、公表、表彰します。

効果

QSAT-EOS の主ミッションは、地球観測においては、災害監視や農水産資源管理に威力を発揮することから、九州の皆様にも親しまれ、広く使ってもらうことが重要です。このため、愛称募集を通して QSAT-EOS の優れた機能や能力を知っていただき、50kg級の超小型人工衛星でも十分ビジネスに役立つことを示したいと考えています。また、この衛星の開発においては、多くの大学院生が携わっているため、人材育成の場ともなっています。さらに、本衛星の開発には九州内の多くの企業が関わっており、地元産業界にも大きなインパクトを与え、産学連携の促進にも貢献しています。このような波及効果についても九州の皆様への御理解を深めていきたいと考えています。

■今後の展開

九州大学は、QSAT-EOS 打上げを機会に、そこで得られた衛星画像を使って災害監視や農水産資源管理のネットワークを構築し、社会貢献を行っていきます。本衛星の打上げとそれによって得られる成果が、2011 年に創立百周年を迎え、次の百年に向けて躍進する本学の大きなステップとなることが期待されます。

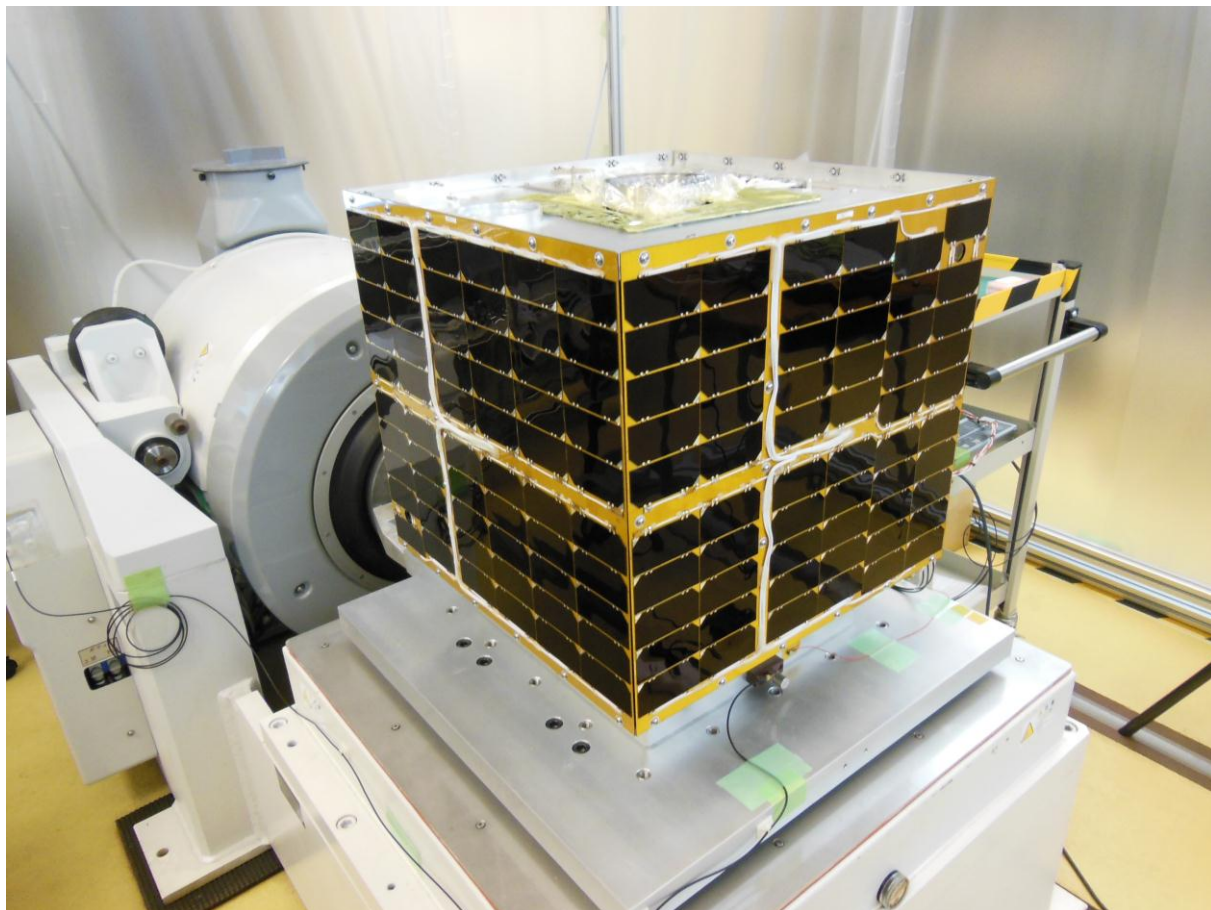


図1 振動試験中の QSAT-EOS

【お問い合わせ】

九州大学大学院工学研究院 教授 麻生 茂
(あそう しげる)

電話：092-802-3050

FAX：092-802-3001

Mail：aso@aero.kyushu-u.ac.jp